

夫の後押しで一歩踏み出せた。何か悔しいけど(笑)

自分自身として社会とのつながりを
持ちたいと思っていた

上の子が幼稚園に入ったことで、時間的にも精神的にも少し余裕ができたなと思い始めた時、子どもつながりではなく、自分自身として社会とのつながりを持ちたいと思うようになったこともあり、何となく復職や再就職について考えるようになりました。ただ、いきなりフルタイムでの復職は厳しいなと思っていたので、少しずつかなと思っていました。



藤東 恭子

- ・白河市在住
- ・2児のママ
- ・5年前に夫の転勤で白河市に移住

家族のサポートや子どもの成長は
「妻」「母」としても嬉しかった

夫は相談に乗ってくれたり、アドバイスをくれたり、結構協力的でした。自分自身も活動を始めてから、生活にメリハリがつくようになったので、そこも良かったなと思います。何より、場所見知り・人見知りだった下の子が、他の人がいる環境等に徐々に慣れてくれて、そうした部分が少しずつ改善された感じがして、母親として嬉しかったです。

「やってみなきゃ分かんないじゃん」

この復職プロジェクトは「週1回2時間から子連れOK」という、私が望んでいた環境で、これなら無理なくできるかな?と思いつつ、やっぱり不安もありました。それを夫に話した時、「やってみなきゃ分かんないから頑張ってみな」と言われたんです。今思えば、その夫の一言で一歩踏み出す決心がついた気がします。何かちょっと悔しいんですけど(笑)

Message

私自身、はじめは不安も大きかったですが、振り返ると「始めれば何とかなる」という事を実感しました。もし無理そうだなと思ったら止まればいいと思うので、まずは一歩踏み出してみたいです。

活動を振り返って

活動を始めてから、調べものや学び直すことが増えました。この活動をしていなかったら、多分しなかったと思います。また、他のメンバーとチームで考えながら進められたことは、とても大きかったです。みんなで一緒に活動することで、自分がチームの中でどういう役割になりたいか等も考えるきっかけになりました。そういう部分も含めて、みんなにありがとうと言いたいです。



初めてのことに
チャレンジしてみよう
と思えるようになった

自分が社会とつながっている感覚が嬉しかった。

もう少し先まで我慢かなと
思っていた「復職」

元々、働きたい気持ちはあったのですが、これから控えている子どもの幼稚園入園～小学校入学などを考えると、復職はもう少し先まで我慢かなと思っていました。そんな時、子連れOKなこの活動のことを知り、それなら子どもにもそこまでストレスをかけないだろうし、何より自分がワクワクしたので、参加してみようと思いました。

“わたし”の時間が嬉しかった

活動していく中で、“ママ”でも“妻”でもない、“わたし”の時間がくれたことは嬉しかったし、楽しかったです。子どもを介した場以外で、ちゃんとコミュニケーションがとれるか、不安も少しありましたが、チームのメンバーの皆さんのおかげで、その不安はなくなりました。また、子どもにとっても他のメンバーの子とふれあえたことは良かったと思います。



鈴木 絢乃

- ・白河市在住
- ・1児のママ
- ・活動前は子どもを家族以外に預けた経験なし

漠然とした不安が消え、
いきいきしている実感がもてた

「働きたいけどもう少し先だな」と思っていたので、「仕事」に対して、漠然とした不安やモヤモヤを感じながら生活していました。この活動に参加したことで、モヤモヤが消え、気持ちに余裕ができて、自分がいきいきしているという実感がもてました。また、これまでは何をやるにも慎重派でしたが、初めてのことに挑戦してみようと思えるようになりました。

Message

もし私が活動参加前の自分に何か言えるなら、「踏み出してみたらいいことあるよ!」と言うかなと思います。あまり悩み過ぎずに「まずやってみる」のはいいんじゃないかなと思います。

活動を振り返って

この活動に参加して、「こういう働き方ができるんだ!」という発見がありました。子どものことは、「仕事」を考えると心配のひとつではありますが、例えば子どもと一緒に働ける場や機会が増えたりしていけば、「働く」に向けて前向きになれると思うので、働きたい人、働ける人は増えるんじゃないかなと思います。

自分ひとりでは
きっと難しかったけど、
家族やチームが
支えてくれたから頑張れた